



議会だより

2008

平成20年

7月25日発行

No.109

○発行...太良町議会編集委員会

○〒849 1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954 67 2151

○<http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

海開き式(7月8日)



山開き式登山風景(7月17日)

一般会計補正予算 42,413,000円

議会会議録がインターネットで見られます。

太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。

6月定例議会

会期 6月6日～13日（8日間）

一般会計補正予算 42,413,000円

主 な 事 業

・電算システム改修委託料

1,609,000円

・消防団員退職報償金と退職功労金

8,454,000円

報告第一号
太良町一般会計繰越明
許費繰越計算書の報告
について

・広域漁港整備事業五千三
百二十万七千円。

・小学校費の耐震診断業務
委託料四百二十九万八千
円。

・中学校費の耐震診断業務
委託料四百二十四万九千
円の各翌年度繰越額につ
いて報告する。

専決処分事項の承認を
求めることについて

地方税法等の一部改正に
伴う町税条例の一部改正。

専決処分事項の承認を
求めることについて

地方税法等の一部改正に
伴い、太良町国民健康保険
税条例の一部改正。

専決処分事項の承認を
求める

戸籍法の法律施行に伴う
太良町手数料徴収条例の一
部改正。

太良町一般会計補正予
算（第六号）の専決処
分

地方譲与税、地方交付税、
交通安全対策特別交付金、
町債等の額が確定したこと
に伴う財源措置と、歳出に
ついては、各事業費の確定
に伴う追加補正。

専決処分事項の承認を
求めることについて

平成十九年度決算で四百
六十七万六千円の歳入不足
が生じたので、歳入不足を
補填するため専決した。

佐賀県市町総合事務組
合規約の変更に係る協
議について

規約の変更に伴うもの。

不動産の取得について

(株)大橋恒産所有の山林等
二百三十万三千九百四十六
平方メートルの取得。

太良町一般会計補正予
算（第一号）

補正予算の主なもの。

・電算システム改修委託料
百六十万九千円。

・ワサビ生産施設・加工施
設整備事業費補助金六千
三百八十三万八千円。

・消防団員退職報償金と退
職功労金八百四十五万四
千円。

・早垣区公民館整備事業費
補助金十二万九千円。

合計四千二百四十一万三千円の増額補正。

**議案第四十七号
太良町国民健康保険特別会計補正予算（第一号）について**

老人保健医療費拠出金及び介護納付金の支出額の確定に伴うもの。

太良町漁業集落排水特別会計補正予算

三百五十一万七千円を職員の人件費による人件費の減額。

歳入歳出の総額は四千三百九十八万三千円。

町立太良病院事業会計補正予算（第一号）

業務の一部を佐賀県医師会成人病予防センターへ委託するための委託料二百四十八千円の増額。

太良町固定資産評価員の選任について

太良町大字多良九〇一四番地

永淵孝幸氏を選任

諮問第一号

人権擁護委員の推薦

峰下佐恵子氏

諮問第二号

人権擁護委員の推薦

澤 純滋氏

**選挙第一号
太良町選挙管理委員及び補充員の選挙**

・当選者

・選挙管理委員

栗山 英次氏

池田 重義氏

平川 清太氏

巨瀬エイ子氏
・補充員
当選者

中原 稔氏
山田 佳子氏

井手カツ子氏
中島 末博氏

請願第一号

教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願について

義務教育費国庫負担制度

の堅持など四項目による請願項目を採択。

意見書を提出

教育予算の拡充を求める意見書。

太良町ふるさと応援寄附金基金条例の制定について

太良町の活力あるまちづくりのために、貢献したいという寄附者の思いを活かすため基金条例を制定するもの。

太良町農業委員会の委員の推薦について

現委員の任期満了に伴い、
・田中夏雄氏（畑田）
・酒村義雄氏（亀ノ浦）
を推薦。

**臨時議会
七月十四日**



太良町納涼夏祭り（7月26日）





一次産業を復活させよ

山口 光章 議員

一般質問

答 農林水産課としても応援していきたい。

大良町の一次産業について

山口 我が町の経済は一次産業により保たれている。

しかし、現在我が町が要とするところの一次産業の低迷が続いている。

私も太良町民として経済の安定と住民のうるおいを望む者の一人である。太良町独自の生き方を選んだ以上、このままでは、今以上に過疎化していくのが目に見える様ないがしなないでもない。



みかん摘果作業風景

どうにかしてこの産業（農林、水産）を活性化させる方法を考えて行くべきだと思いが、トップの町長としての政策はどのようなものか。

町長 我が太良町の農家戸数も昭和六十年には千五百七十戸、農業就業人口二千六百三十人であったが、平成十七年度には、千二百七十人と、二十年前と比較すると農家戸数で五百

五戸、就業人口で千六百人も減少し、第一次産業を基幹としてきた太良町は非常に厳しい状況である。

山口 水産業についてはどうであるか。

町長 アゲマキの不漁が平成三年から始まり、タイラギの不漁も平成十一年からあらわれ、有明海の水況悪化に伴い、漁船漁業の低迷が長期化し、平成三年の漁獲高は十九億五千四百七十万円あったものが、平成十六年度には三億六千四百四十四万円と大幅に減少している。

特に、漁船漁業の方は経営が大変厳しい状況になっている。

山口 一次産業における後継者の対策についてはどう考えていくのか。

町長 農業の新規就業者は、平成十五年から十九年まで七名の方が就農している。

水産業も後継者は平成十五年から十九年まで七名の方が跡を継いでいる。しかしながら、平成十二年と平成十七年の三十九歳以下の農業就業人口

は二百二十六人から百五十一人と七十五人も減少し、水産業についても平成十年から平成十八年の三十九歳以下の漁業就業人口は百三十四人から五十四人も減少している。

山口 今後の一次産業に対して町のトップである町長の考え方、そしてその対策政策はどのように考えていくのか。

町長 今後の対策、政策としては、我が町の基幹産業である太良みかん光セリンサーデータ活用及びマルチ被覆の推進によるブランド率の向上、新規作物の導入、露地野菜及び施設栽培の推進などに取り組み、消費者の求める食の安全、安心に配慮しながら、農業の振興、活性化を図っていききたいと思っている。

水産業の対策、政策は、牟田干拓の有効利用の件と養殖力キ及びアサリ養殖への側面的な支援、ガザミ蓄養試験の支援等を行っていく。

また平成二十年五月二十一日発足した漁協と県そして町で組織する事務レベルの大浦地区水産振興協議会の場で議論し、何らかの漁船漁業の振興のための事業案、対策案等を形づくり、その成果をもって国、県への要望活動や町の事業実施に向けて働きかけたいと考えている。

山口 町長自身の良案はあるのか（太良町が一次産業で生きのびていく為の）

町長 農業の疲弊及び有明海の再生は町単独で解決できる問題でなく、国レベルでの対策が必要だと考えている。

農家及び農業団体や、漁家や水産業団体と協議し、専門分野の意見を拝聴しながら、農業及び水産業の振興策について国県へ要望していききたいと思っている。



太良町独自の農業振興対策は

山口 殿議員

答 現場の意見を拝聴し、産業の振興を図る。

山口 太良町の基幹産業の一つである農業は、原油

の高騰に伴い、関連商品の値上がり、さらに主要原料及び海上運賃すべてが史上最高値を更新し二年間で八十パーセントと、大幅な値上がりをした第一次オイルショック時を大幅に上回る勢いで農家に値上げの通告が現在来ているところである。

と対策は。

町長 国内外の農業を取り

巻く環境は大変厳しい状況となっており、農家、農業団体と協議し、国の協力を得ながら、町の農林業の振興を図っていく。

山口 町も付加価値の高い

農産物作りを推進しているところだが、特別栽培が一番の近道ではないかと考えるが、町内の特別栽培への取り組みは。

農林水産課長 三種類取り

組んでおられ、化学農薬を使用しない有機栽培、JAS農家が一户。

化学農薬、化学肥料五

割減で取り組んでる、特別栽培農家が五戸。

減農薬、減化学肥料で

取り組んでいる、エコ農家が四百十三戸。

三つの方法で特別栽培

に現在取り組んでいる。

山口 鳥インフルエンザの

防疫措置と、太良町の取り組みは。

町長 町内には商社系、農

協系の飼養農家十六戸、常時七十九万羽が飼育され、現在は全農家防疫体制は統一され防疫、風評被害の予防等のチラシの配布、及び町報への掲載、県では、発生を想定した防疫演習を行い不測の事態に備えて体制の整備は

できている。

山口 行政の対応が大事だ、今一度、巡回指導等の強化の考えは。

農林水産課長 予防が一番

大事だ、家畜保健所と巡回指導等を一緒に行い、

防疫について今後とも厳重にやっていく。

山口 太良町が大橋恒産所有の山林を購入に踏み切った大きな要因は。

町長 水源涵養、国土保全

地球温暖化防止等の公益的機能が重要と考える中、太良町森林組合の林業推進委員三十五名の捺印で、

購入についての陳情書が提出され、幾度となく交渉し、地元山林の所有者に単価を余り下げた迷惑をかけたくないとの思いで購入分、面積二百三十・三九ヘクタール。

寄付分、面積百十九・三九ヘクタール。

と分けて提示され、四億円で購入したが、重要森林公有化支援事業の対象となり、二分の一の県費補助が受けられ、町の実質の支出金額は、二億円となり合意したものである。

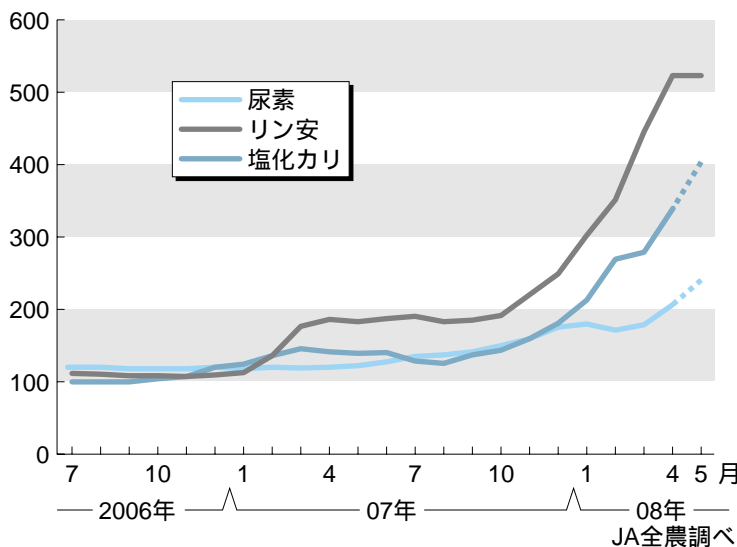
山口 今年度より取り入れ

られた、佐賀県森林環境税への太良町の取り組みと、考えは。

町長 五力年間が事業期間

で、荒廃森林再生事業と重要森林公有化支援事業を取り組んで行きたい。

尿素・リン安・塩化カリの国際価格の推移 (2005年1月を100とする指数ベース)





大橋恒産の 山林購入について問う

牟田 則雄 議員

一般 質問

答 平成二十一年三月議会で購入決定。

牟田 山林購入依頼が出てから購入までの経緯について。

町長 平成十九年七月三日、

太良町森林組合長名で、三百四十九、七八ヘクタールの購入願いが提出され、平成十九年九月十二日に太良町森林組合の

森林推進員三十五名の署名捺印で町長に対し陳情書が提出され、太良町にとつては多様な公益的機能が重要との判断で協議検討を重ね値段について

も交渉をして来た、平成十九年十一月十五日に太

良町営山林運営委員会を開催し購入についての同意を得て三月議会で議決

した。

牟田 平成十九年九月十二日、大橋恒産より諸般の事情で山林経営が出来なくなつたとの理由で購入

依頼が出て平成二十年三月議会で決定するには町民に知らせる十分な時間が少ないのではないのか。

町長 何回(二回)となく議会全員協議会を開催し皆様の同意を得ながら決定している。

牟田 今回と同じ大橋恒産から反当価格にして平成五年度は九万円、平成九年度は十萬五千五百円、平成十四年度は十萬四千二百円(平均九萬八千八百円)で町は購入してないから今回は何故、十七万三千七百円での購入になつたのか。

町長 前三回は町単独事業であつたが今回は県の補助事業があつたから踏み

きつた。

牟田 補助金は町民の負担を軽くする為のものではないのか、前三回平均値で三百五十町を全部買つても三億五千万円で町民負担は五千万円少なくてすむと思うがそうは考えられないか。

町長 町が高く買えば当然山の値段が上がる、単価を下げたくないという事で百九十九町は寄附してもらつた。

牟田 購入の緊急性と町民の利益について

牟田 学校校舎の耐震強化等、町には緊急性が高い事業が多い中、山林購入を優先させる理由は何か。

副町長 町が知らないうちに産廃処理とか危険な計画が進められる可能性があるあるので今の時期が良いと思う。

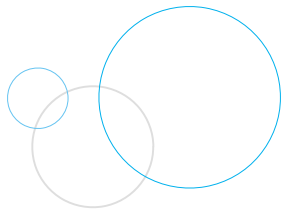
牟田 この山林を購入する

事で町民にはどんな利益があるのか

農林水産課長 太良町は地下水に水源を頼っており町民の福祉、安全で安心な安価な水を提供できる事が一番重要な事と思う。

牟田 そういう働きは公有林と私有林の違いがあるのか

副町長 町が管理しておけば安心である。



山林購入地(大橋恒産分)

H19.10.12作成

区分	購入地年度	所有面積 (ha)	購入金額 (千円)	ha 当り単価 (千円)
町 有 林	H 5	120	108,225	901
	H 9	197	200,000	1,015
	H14	94	98,000	1,042
	小計	411	406,225	平均 988



雇用対策について

平古場公子 議員

答 町内の企業、事業所の雇用の確保に努める。

平古場 太良町の就業環境は依然として厳しい状況にある。

また女性は特に町内の就業を望んでいる。

しかし町内には大きな企業もなく、生きていくためには、ある程度のリスクを背負いながらも町外に勤務しているのが現状である。

町として町内雇用の確保に努められているのか。

町長 町内の雇用情勢は、女性に限らず男性も含め、特に若い世代の町内雇用の場は大変厳しい状況にあると認識をしている。

町内の事業所に対して、これまで通りセーフティネットによる中小企業への誘致等に努め雇用の確保に努めたい。

平古場 中央公民館のパソコン教室が開かれているが、過去五年間位のデータを問う。

中央公民館長 平成十五年度、六回コースで二百三十九名、十六年度、六回コースで二百二十六人、十七年度、五回コースで百一人、十八年度、四回コースで七十四人、十九年度、四回コースで五十七人の参加となっている。

中央公民館パソコン教室過去5年間のデータ

年 度	コース	男	女	計
15 年 度	10回コース	66名	173名	239名
16 年 度	6 回コース	27名	99名	126名
17 年 度	5 回コース	27名	74名	101名
18 年 度	4 回コース	27名	47名	74名
19 年 度	4 回コース	10名	47名	57名

平古場 このパソコン教室は、特に女性の方に喜ば

れている。

今後もぜひ続けてもら

いたいと思

う。今、ハ

ローワーク

でもなかなか

いい仕事

がなく、多

くの女性が

悩んでいる。

子供がい

るから当然

子供は可愛そうだし、生活はしなければならいし最終的には、仕事をやめざるを得ない女性がたくさんいる。

町として、安心して働ける様に、町民優先の呼びかけができないか。

企画商工課長 生活環境の改善という事で、ハード面の整備、交通アクセス等の充実も含め、今後町内企業、又事業所等に、町民優先の働きかけを積極的に努めていきたい。

空き室の利用について

平古場 現在少子化の時代でもあり、かなりの空き室があると思うが、入学式、卒業式、又は、授業参観などの一時託児所として利用できないか。

教育長 多良小学校に二つの空き室があるが、放課後児童クラブに利用されている。

この様な状況であるか

ら、一時託児所に利用するには、乳幼児に合う安全な部屋に環境を変える必要がある。保護者からの要望は今の所はない。

平古場 今までは、福祉協議会のチャイルドたちの方達に対応されているが、今後、学校内での対応をぜひ考えられないか。

教育長 今後少子化に伴う学級数の減少等による余裕教室については、近年の教育内容、教育方法の多様化や、地域に開かれた学校づくり等に対応していくためにスペースとして、積極的に活用を図っていくという事が重要であると思う。



AED(自動体外式除細動器)の大浦地区への増設を!!

久保 繁幸 議員

一般質問

答 今後検討し大浦地区への増設を考
える。

久保 突然心臓や呼吸が止

まり心臓疾患による死亡者が毎日全国で百人近くいると発表されており、観光やスポーツイベント等で不特定多数の人々が来られる太良町であるが、AEDの町内の設置数は何台なのか。

町長 設置場所は公共施設に十三台で多良が十一台

久保 大浦に二台である。

救急車が大浦地区まで早くても、十〜十五分はかかるが、心肺停止から一分で七〜十%の割合で生存率が低下すると言われ、十分がタイムリミットだそうですのでこのような事を勘案し、大浦地区に増設は考えていないか。



AED 研修風景

町長 今後検討して増設・移設を考える。

久保 AEDの啓発啓蒙と訓練はどのように行われているのか。

町長 消防署に依頼し、小さい館や、B&G体育館等で町職員、スポーツ関係者、一般町民やAEDを設置している施設で操作方法等の説明を行い、今迄四回程度講習会を実施し百人強が受講している(病院職員を除く)。

久保 庁舎の玄関先の自動ドアにAEDのシールが貼ってあり、誰でもが簡単に使えますと書いてあるが、どのように簡単に使えるのか説明を。

財政課長 機械が音声でメッセージを発しているのと教えてくれるので、その通りにやれば誰にでもできる感じで、電流を流す時は注意が必要である。

久保 町立病院には医師がいるのに何は二台も必要なのか、又本格的な電気ショックは常設していいの

病院事務長 医師が不在の時もあり時間との闘いで

るので、二台設置させてもらい、医師が専用にするカウンターショックも二台常設してある。

久保 乳児や子供への使用はどのようになっているのか。

健康増進課長 乳児には使

用できない。一歳以上、八歳未満で体重二十五キロ以下の子供用は町内には設置はない。

教育行政について

久保 近年少子化が想像以上に進む中、小・中学校の編成、統合への取り組み案を早目にプラン作成すべきと思うが。

教育長 併設や統合する場合、住民の要望、意見、今後の児童、生徒数の推移等を十分検討する必要

があると思う。

久保 全国的に自治体主導で広がっている傾向の幼

保一元化の方向性も考えるべき時期ではないかと考えるが。

教育長 子供の心身の健全な発達に必要な最低限の環境作りを確保するため

の基準が必要で検討したい。

久保 太良高校再編整備の問題があがっているが、方向性はどのようになるのか。

教育長 教育総がかり協議会を設置し、連携教育を

推し進めている中なので、一層の推進を図り、魅力的な太良高校を構築した上で、存続に努力したい。

町長 私の案としては、太良実業高等学校という型

で、農業・林業・水産という高校とし、ペーパーは学校で勉強し実技は山・畑・海での実習はすぐ近くで出来るので、県に高校を廃止廃止といわないで、このような検討もお願している。

久保 新指導要領の中で、中学校での男女とも武道とダンスの必修科はなぜか。

教育長 道徳教育や体育の充実で、豊かな心や健康な体を育成し、伝統や文化に関する教育の充実の一環である。



第三次太良町総合計画 後期基本計画について

見陣 恭幸 議員

答 町民の視点に立って行政運営を行う。

見陣 自然環境の保全につ

いて、公園広場の充実状
況と今後の対策について

町長 子供たちから高齢者

までが自然と触れ合うこ
とができる公園やスポー
ツ、レクリエーションな
どを楽しめる整備が重要
だと考えている。

社会教育課長 施設の定期

利用者と管理者と相互で
施設の整備に努めていく。

見陣 健康の森公園、あい

あい公園など障害者、特
に車いすを利用される方
たちが利用できるような整
備は進んでいるのか。

農林水産課長 今後、障害

者の方も利用できるよう
な公園として整備を図っ
て行きたい。

副町長 農村公園について

は県事業でつくった関係
で身障者用の駐車場を準
備しており、トイレもス
ロープ式につくっている
ので車いすでも自由に出
入りができるような整備して
いる。

見陣 海岸、河川整備の状

況と今後の対策について

町長 JR振興策による県

営事業の海岸保全事業で
消波ブロックの設置が計
画されており、今年度か
ら二十四年度までの五ヶ

年で実施予定となつてお

り、早期整備が図られる
よう要望して行きたい。

見陣 高潮対策の整備は、

現在どれくらい進んでい
るのか。

建設課長 高潮対策につい

ては、伊福地区と江岡地
区の国道沿い五百四十m、
たらぶく広場の護岸四百
m、竹崎の漁業集落排水

施設の護岸百七十m、計
千百mが今後整備が必要
な箇所と考えている。

見陣 環境衛生と環境保全

への取り組みと対策につ
いて。

町長 一般廃棄物の適正処

理及びリサイクルの推進
並びに環境学習の充実、
河川や海の水質保全とE
M活性液を使用して環境
衛生の向上に努めたい。

見陣 環境サポーター事業

は、どのような活動をし
ているのか。

環境水道課長 県の事業で、

希望される団体があれば、
環境水道課に連絡をもら
えば県と調整して実施し
ていきたい。

見陣 不法投棄があちこち

にあると思うが状況はど
うなのか。
環境水道課長 不法投棄は
十九年度は千五百kgほど

処理をして、対策として

看板を設置したらかなり
効果があったと思う。

見陣 生活安全の確保につ

いて、防災と消防の取り
組みはどうしているのか

町長 平成二十年度太良町

防災パトロールを実施し、
町内の危険箇所等を調査、
自然災害に対し備え急り
がないように努めている。

消防については、消防
団の組織強化、整備、充
実、防災体制の強化に努
めたい。

見陣 現在、防災無線、特

に火災放送がわかりづら
いといった問い合わせが
あるが詳しく説明をして
もらいたい。

総務課長 的確な現場がわ

かるように目標物を町内
を三百十カ所、行政区に
二十カ所以上設定して、
武雄の広域消防から遠隔
操作によって目標地点を
音声合成し機械的に処理
をして放送されている。

見陣 通学路の整備につい

て、カーブミラーの設置
路肩の整備はどうなつて
いるのか。

総務課長 限られた範囲内

で場所を確保し上司と相
談し決定して、今設置し
ている状況である。

見陣 広域農道と交差する

道路、特に片峰線が交通

事故の発生が多いので、

どのような対策をとつて
いるのか。

総務課長 片峰線は、七、

八件事故があっている、
手前で柿色で注意線を通
して、交通安全協会で、
左右確認、事故多発、一
時停止の看板も設置し
カーブミラーも設置して
いる。

副町長 交差点の中央付近

に、夜間赤いシグナルを
出して光るような形のも
のを県の方で設置しても
らっている。

見陣 行政運営について、

行政財政改革大綱及び行政
改革プランの進捗状況と
今後の対策は。

町長 町を取りまく環境の

変化に十分注意し、引き
続き、町民の皆様の視点
に立った健全な行政運
営を行なっていく。

見陣 地域住民が考える

サービスと行政側が考え
るサービスについて食い
違いがあるのではないか

総務課長 市町村が行なう

住民サービスは、自治体
経営には住民満足度につ
いてもつと考えるべきだ
と、皆様方の忌憚のない
御意見や御指導を賜りた
いと思っております。

	財政力指数	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	公債費負担比率	基金残高	町債残高
H15年度	0.252	3.7%	87.5%	10.6%	12.8%	4,644,000	4,684,000
H16年度	0.258	3.1%	92.5%	12.1%	14.1%	4,303,000	4,878,000
H17年度	0.263	3.4%	92.4%	12.2%	15.5%	3,972,000	4,894,000
H18年度	0.266	2.3%	93.4%	12.7%	16.4%	4,085,000	4,804,000
H19年度						4,375,000	4,759,000
	「1」に近く「1」 を超えるほど強い	3～5%程度が望 ましい	75%を超えないこ とが望ましい	15%を超えないこ とが望ましい	15%が警戒ライン 20%が危険ライン	単位千円	単位千円

総務常任委員会

教育行政と防災行政を研修・視察



廃校に至った南溪分校

の規模が縮小される中運営に制約が加わり、クラブ活動においても選択が難しくなるなど、子供達にとつてデメリットの部分もあり、効率的な施設運営を図る上で検討されている。

平成十七年七月、多久市立小・中学校適正規模、適正配置検討委員会要綱(案)が提案され、以降度重なる検討委員会を経て、平成十八年十月の検討委員会には、市立南部小学校南溪分校のあり方についての答申書を承認された。

去る五月十三日、教育行政と防災行政について視察研修した。先ず、多久市の小中学校再編計画による南溪分校廃校に伴う経過と地域との対応について、多久市は平成の合併においては、結果的に単独で生き残る選択をされ、平成十七年四月から二十二年三月を計画期間とする、第七次行政改革大綱が進められている中で、近年の少子化に伴い、児童生徒数が減少し、学校行事

その大きな理由として、二十年度児童数八名を割れば複式学級になることからそれをさけるため、出来るだけ早い時期に分校保護者の意見を聞いた後、会長一任とされ、地域住民との相互理解と跡地利用について十分協議することで事実上南溪分校の廃校が容認された。十回以上に及び地元説明会、意見交換会を経て、平成十九年十一月分校関係区長に、二十年三月三十一

日で本校統合する旨文書にて通知され、二十年三月三十日「閉校式」並びに「お別れ会」行事が催され三月三十一日をもって百一年の歴史を閉じた。その間二十年十ヶ月間改革の情熱とむずかしさを感じさせた。まさに、「文教の里」多久市にふさわしい教育を築くためであり、結局子供のためはどうあるべきか、子供同志で学び合い、みがき合う教育施設、環境を考える時少子化という現実の中では納得せざるを得ない部分があり、時代の流れとして未

計画を示し、議会が反発する構図になっているようだが、県教委の調査によると、公立教育への信頼度が低下している分析結果が公表されている。七割の教師や保護者が改善充実を望んでおり、「ゆとり」教育から「確かな学力」への転換がなされ太良町教育の目指すものとしての、施設の再編と学力向上は、一体的に取り組まなければならない喫緊の課題であることを感じた。

次に杵藤消防本部指令センターの指令システムについて、町民の間で火災放送が解りづらいとのクレームを耳にする事が多いことから当センターを視察、太良分署は昭和四十九年十二月一日発足、生活環境の整備と消防、防災体制の充実・強化が図られている。当システムでは、複数のコンピューターをシステム化してあり、太良地区だけ変えることは、経費がかかる、時間が遅れることでもむずかしいとの事であり、実際に試験モードで太良町の二地点から一九番通報をして頂き、システム状況を見学した。自動出動指定装置・放送装置が瞬時に可動し、通報から出動までが大幅に短縮されるシステムとして、最大限の機能を発揮している。太良町内の出動目標通報箇所は、三百五十箇所となっており遠隔放送することで、より早く災害現場へ出動出来るシステムである。

従来の個別放送と比較して三〇五分早期指令、早期出動が可能となっており、目標物を個人名にする事は予算上不可能との事で、町内だけ再放送には逆に五分七分の所要時間がかかることから町民の皆様のご理解とご協力を頂きたいと思っております。高機能消防指令センターを視察して、災害に強い町づくりを推進することの重要性を再認識した研修であった。

諫早湾潮受け堤防排水門の開門調査 早期実施を求める要請書を国に提出!!



去る6月27日、佐賀地方裁判所は、有明海沿岸4県の漁業者らが求めていた国営諫早湾干拓事業潮受け堤防の撤去・排水門の常時開門を求める訴訟において、今後3年以内に潮受け堤防の排水門を開放し、以後5年間に渡って開門調査を継続することを命じる画期的な判決を言い渡した。

判決では、潮受け堤防の閉め切りと湾内及び湾内周辺環境悪化には相当の因果関係があることを認め、中・長期開門調査の実施をかたくなに拒んで因果関係の立証に協力しようとしないう国の姿勢を、「立証妨害」であり、訴訟上の信義則にも反するものである旨糾弾している。

有明海の再生については、これまで種々の施策が講じられてきたが、今でも有明海異変は続いており、諫早湾干拓事業との因果関係を明らかにするには、潮受け堤防排水門の中・長期開門調査が不可欠である。

本町議会としても、有明海再生や開門調査の早期実施等について、過去3回の意見書を提出してきたところである。

農林水産省は、今回の判決を重く受け止め、控訴を断念し、速やかに開門して中・長期開門調査を実施し、有明海・諫早湾の自然再生と水産業振興に向けて、政策を転換するべきである。

「豊饒の海、宝の海」有明海を蘇らせるため、常時開門することが沿岸漁業者の願いであり、漁業者とともに有明海再生を願う本町議会も、ここに、中・長期の開門調査の早期実施を強く要請する。

平成20年7月8日

佐賀県太良町議会

7月11日、国が控訴する事を決定したが、太良町議会は引き続き、県と協議の上、強い姿勢で開門実現を目指し、要請していく。

議会のあゆみ

4月～6月

4・1	教諭赴任式	典	5・23	商工会総会	協議会総会
4・4	交通対策協議会	議会だより編集委	5・25	多良中学校体育大	納涼夏まつり運営協議会
4・6	消防ポンプ自動車引渡し式	育英資金審査委員	5・28	鹿島藤津医師会	
4・7	消防入退団式	会	6・1	鹿島ガタリンピツク	
4・7	教諭辞任式	町民体育大会	6・2	消防操法大会ラック	
4・9	太良高校入学式	町営火葬場整備計画準備委員会	6・6	議会運営委員会	
4・10	小・中学校入学式	議会だより編集委	6・10	議会全員協議会	
4・12	高校再編説明会	式	6・11	6月定例議会一般質問	
4・15	大浦中体育館開き	総務常任委員会	6・13	竹崎かに旅館組合	
4・18	慰霊祭	長会	6・26	通常総会	
4・22	議会だより編集委員会	ソフトボール大会	6・23	6月定例議会議案審議	
4・23	武雄鹿島政経セミナー	自衛隊父兄会総会	6・26	議会全員協議会	
4・23	視察	防衛協会総会	6・26	スポーツ振興会理事	
4・25	鹿島藤津衛生施設組合臨時議会	国会議員との懇談	6・26	果実組合通常総会	
4・28	長崎新幹線起工式	研修会	6・26	多良地区広域農道推進協議会通常総会	
5・22	長崎新幹線記念式	B & G佐賀県連絡			



第29回佐賀県消防操法大会 ラッパ隊練習風景

編集室より

暑い毎日が続いておりませんが、町民の皆様におかれましては、お仕事に日々頑張っておられる事と思いません。

海開き式には、松涛保育園と大浦幼稚園の園児達も元気いっぱい泳いでおりました。

山開き式も開催され、町内外から一人でも多く利用者がおとずれる事を期待しております。

編集委員会

- 委員長 木下 繁義
- 副委員長 見陣 泰幸
- 委員 山田 則雄
- 山口 則雄
- 所賀 廣
- 平古場 公子